

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和元年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要	.....	I - 1
2. 工事の実施状況	.....	I - 3
3. 調査結果の概要	.....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質	.....	II - 1
2. 水質	.....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和元年8月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月7日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

### 【参考】(自主検査)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月7日	1回/年

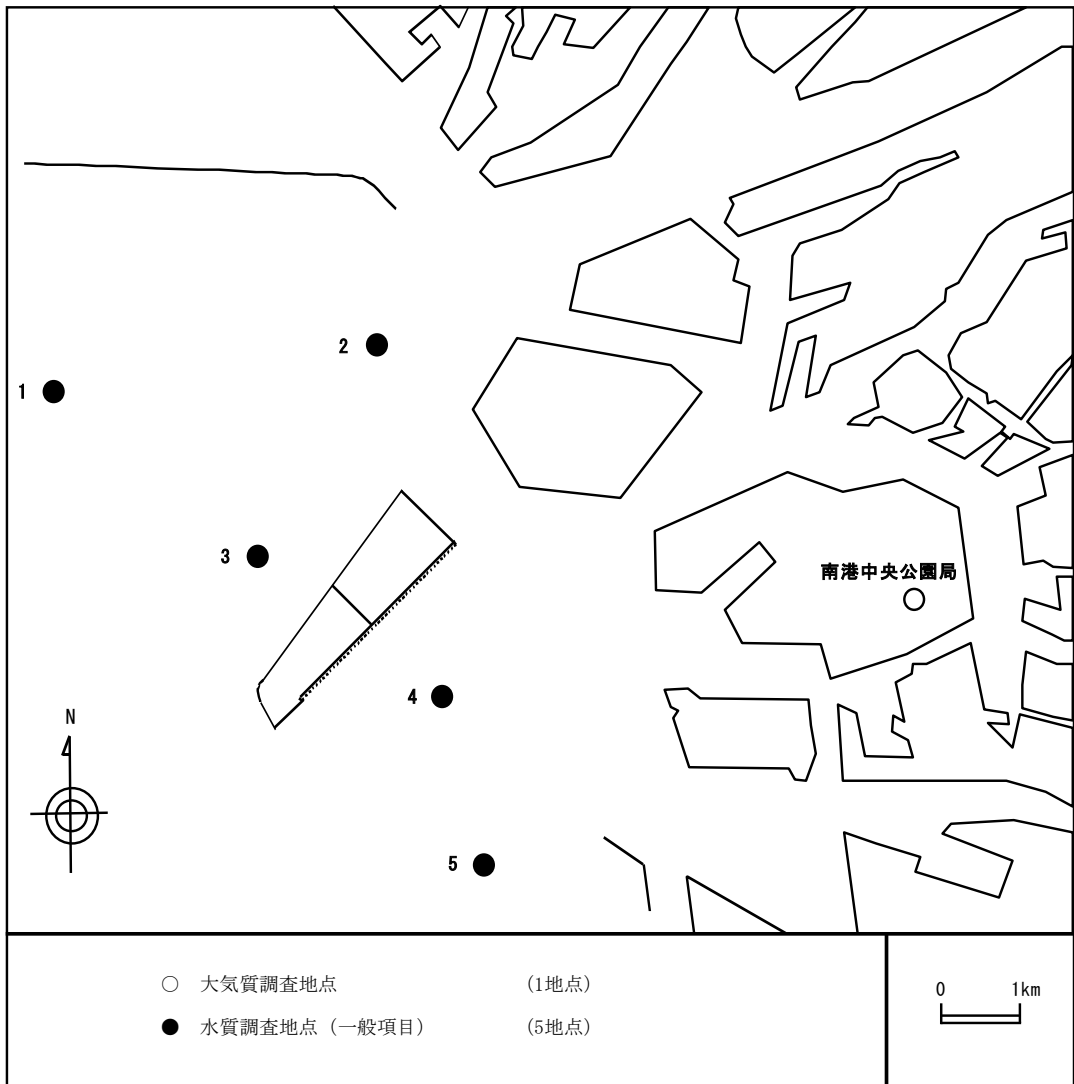
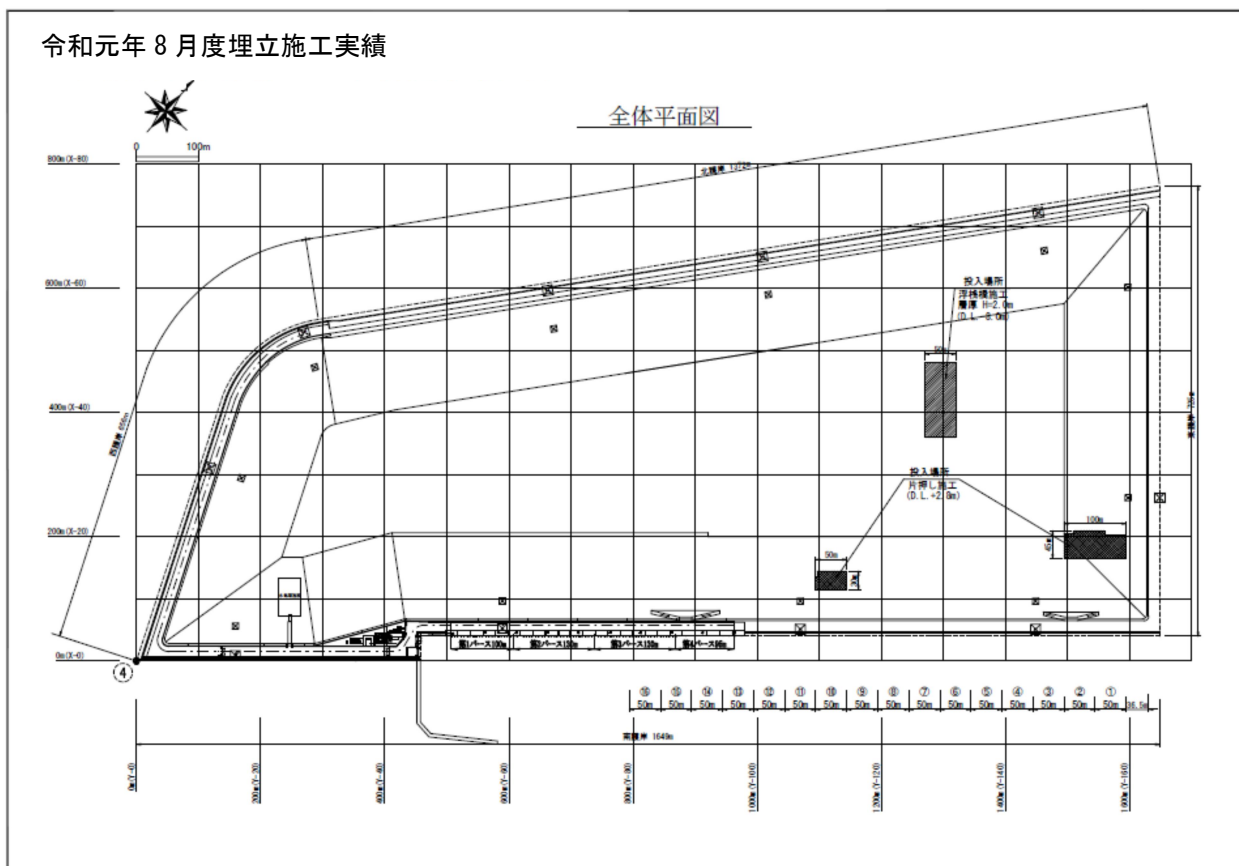


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和元年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
5,257,311	37.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.014ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.012ppm であった。また、日平均値の最高値は0.023ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.047mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.093mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5～8.7、下層で 7.8～8.1 の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (8.6)、調査地点 2 (8.5)、調査地点 3 (8.7)、調査地点 4 (8.6) 及び調査地点 5 (8.6) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、調査地点 3 でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.0～6.2mg/L、下層で 1.0～3.0mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (6.2mg/L)、調査地点 2 (4.8mg/L)、調査地点 3 (4.8mg/L)、調査地点 4 (5.1mg/L) 及び調査地点 5 (4.0mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 1、4 でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 11~12mg/L、下層で 3.2~6.4mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 2 (4.0mg/L)、調査地点 4 (3.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.36~0.62mg/L、下層で 0.16~0.33mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.62mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.058~0.096mg/L、下層で 0.026~0.10mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.096mg/L)、調査地点 2 (0.086mg/L)、調査地点 3 (0.058mg/L)、調査地点 4 (0.061mg/L)、調査地点 5 (0.063mg/L) 及び下層の調査地点 2 (0.063mg/L) 並びに調査地点 4 (0.10mg/L) であった。

事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 6) 濁度

濁度は上層で 4~6 度(カリン)の範囲、下層でいずれも 1 度(カリン)であった。

### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~6mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~1mg/L の範囲であった。

### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 14.4~36.0  $\mu$ g/L、下層で 0.2~2.6  $\mu$ g/L の範囲であった。

**【参考】ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、全亜鉛**

ノニルフェノールは報告下限値未満(<0.00006mg/L)、LASは報告下限値未満(<0.0006mg/L)及び全亜鉛は0.004~0.006mg/Lの範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目 (n は日間平均値のデータ数) のデータ値をもって 75%水質値 (0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる) とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [令和元年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	735
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和元年8月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.007	0.014
	2 (金)	0.006	0.014
	3 (土)	0.006	0.014
	4 (日)	0.004	0.010
	5 (月)	0.002	0.005
別	6 (火)	0.005	0.010
	7 (水)	0.004	0.009
	8 (木)	0.006	0.013
	9 (金)	0.004	0.014
	10 (土)	0.004	0.007
	11 (日)	0.002	0.005
	12 (月)	0.002	0.006
	13 (火)	0.001	0.004
	14 (水)	0.000	0.002
	15 (木)	0.000	0.000
	16 (金)	0.001	0.002
	17 (土)	0.005	0.012
	18 (日)	0.006	0.014
	19 (月)	0.004	0.010
	20 (火)	0.004	0.009
値	21 (水)	0.004	0.008
	22 (木)	0.004	0.010
	23 (金)	0.002	0.007
	24 (土)	0.002	0.005
	25 (日)	0.002	0.004
	26 (月)	0.003	0.010
	27 (火)	0.002	0.006
	28 (水)	0.002	0.003
	29 (木)	0.003	0.007
	30 (金)	0.001	0.004
	31 (土)	0.001	0.004
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		735	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.014	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果〔令和元年8月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.005	0.032
	2 (金)	0.002	0.012
	3 (土)	0.003	0.015
	4 (日)	0.001	0.007
	5 (月)	0.005	0.008
	6 (火)	0.011	0.031
	7 (水)	0.011	0.040
	8 (木)	0.009	0.026
	9 (金)	0.008	0.034
	10 (土)	0.003	0.014
別	11 (日)	0.001	0.005
	12 (月)	0.002	0.004
	13 (火)	0.002	0.005
	14 (水)	0.001	0.003
	15 (木)	0.001	0.003
	16 (金)	0.001	0.002
	17 (土)	0.001	0.004
	18 (日)	0.001	0.006
	19 (月)	0.002	0.006
	20 (火)	0.009	0.038
値	21 (水)	0.006	0.023
	22 (木)	0.010	0.025
	23 (金)	0.005	0.017
	24 (土)	0.001	0.006
	25 (日)	0.000	0.001
	26 (月)	0.003	0.023
	27 (火)	0.006	0.018
	28 (水)	0.006	0.024
	29 (木)	0.011	0.037
	30 (金)	0.005	0.018
	31 (土)	0.002	0.009
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.011	
1時間値の最高値 (ppm)		0.040	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和元年8月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.017	0.032
	2 (金)	0.018	0.036
	3 (土)	0.011	0.016
	4 (日)	0.008	0.013
	5 (月)	0.009	0.015
別	6 (火)	0.010	0.029
	7 (水)	0.010	0.019
	8 (木)	0.012	0.027
	9 (金)	0.010	0.018
	10 (土)	0.012	0.023
	11 (日)	0.007	0.012
	12 (月)	0.004	0.006
	13 (火)	0.004	0.008
	14 (水)	0.004	0.006
	15 (木)	0.004	0.013
値	16 (金)	0.006	0.012
	17 (土)	0.014	0.031
	18 (日)	0.014	0.025
	19 (月)	0.023	0.034
	20 (火)	0.019	0.028
	21 (水)	0.013	0.019
	22 (木)	0.013	0.022
	23 (金)	0.014	0.027
	24 (土)	0.014	0.039
	25 (日)	0.007	0.013
	26 (月)	0.021	0.035
	27 (火)	0.022	0.037
	28 (水)	0.008	0.015
	29 (木)	0.012	0.018
	30 (金)	0.013	0.027
	31 (土)	0.020	0.036
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.012	
日平均値の最高値 (ppm)		0.023	
1時間値の最高値 (ppm)		0.039	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



浮遊粒子状物質測定結果 [令和元年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (木)	0.039	0.072
	2 (金)	0.047	0.093
	3 (土)	0.023	0.058
	4 (日)	0.014	0.034
	5 (月)	0.008	0.012
	6 (火)	0.014	0.026
	7 (水)	0.017	0.047
	8 (木)	0.017	0.033
	9 (金)	0.013	0.024
	10 (土)	0.016	0.036
別	11 (日)	0.014	0.029
	12 (月)	0.009	0.017
	13 (火)	0.013	0.026
	14 (水)	0.012	0.034
	15 (木)	0.015	0.046
	16 (金)	0.030	0.042
	17 (土)	0.036	0.067
	18 (日)	0.037	0.057
	19 (月)	0.035	0.060
	20 (火)	0.020	0.041
値	21 (水)	0.023	0.047
	22 (木)	0.018	0.033
	23 (金)	0.018	0.042
	24 (土)	0.020	0.029
	25 (日)	0.024	0.041
	26 (月)	0.019	0.040
	27 (火)	0.019	0.030
	28 (水)	0.021	0.033
	29 (木)	0.024	0.042
	30 (金)	0.011	0.025
	31 (土)	0.025	0.057
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.021	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.047	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.093	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和元年8月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (木)	0.6	1.1	W	W
	2 (金)	0.6	1.2	WSW	WNW
	3 (土)	0.6	1.5	WSW	NW
	4 (日)	0.6	1.3	WSW	NW
	5 (月)	2.1	4.4	ESE	E
別	6 (火)	1.0	1.9	E	NW
	7 (水)	0.8	1.7	W	NW
	8 (木)	0.6	1.1	W, WSW	WNW
	9 (金)	0.6	1.1	WSW	W
	10 (土)	0.6	1.5	WSW	CALM
	11 (日)	0.7	1.3	WSW	WSW
	12 (月)	1.6	2.9	ESE	E
	13 (火)	2.4	4.0	E	E
	14 (水)	2.5	4.3	E	E
	15 (木)	2.6	3.7	ESE	ESE
値	16 (金)	1.5	4.4	SSW	WSW
	17 (土)	0.6	1.2	WSW	WSW
	18 (日)	0.6	1.4	WSW	WNW
	19 (月)	0.6	1.4	SE	NW
	20 (火)	0.7	1.5	SE	NW
	21 (水)	0.6	1.4	WSW	W
	22 (木)	0.8	2.4	SSW	W
	23 (金)	0.8	2.0	SW	WSW
	24 (土)	0.7	1.5	WSW	WSW
	25 (日)	0.9	1.6	WSW	WSW
	26 (月)	0.6	1.2	SW	W
	27 (火)	0.8	1.5	SSW	SE
	28 (水)	1.4	2.3	SW	SW
	29 (木)	0.7	1.4	WNW	WSW
	30 (金)	0.8	1.3	SW	WSW
	31 (土)	0.6	1.3	SE	ESE
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.0			
月最大風速 (m/s)		4.4			
月最多風向 (16方位)		WSW			

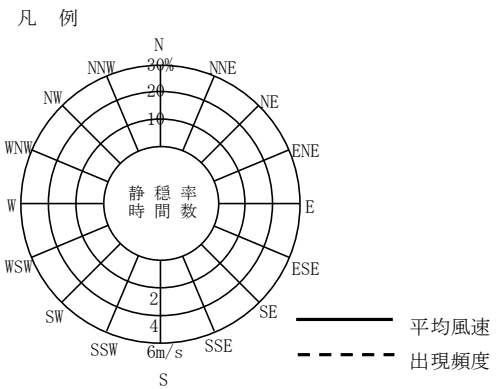
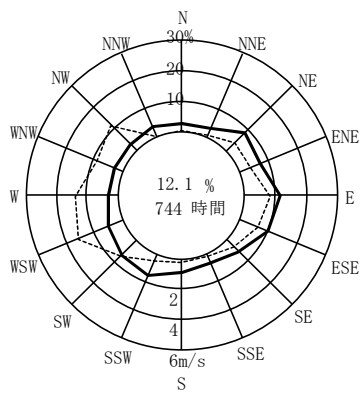
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和元年8月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	5	26	25	61	45	23	7	10	16	53	115	103	70	87	2	6	90	744
頻度 (%)	0.7	3.5	3.4	8.2	6.0	3.1	0.9	1.3	2.2	7.1	15.5	13.8	9.4	11.7	0.3	0.8	12.1	-
平均風速 (m/s)	0.6	1.7	1.4	2.2	1.9	1.0	0.6	0.8	1.5	1.3	1.0	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和元年8月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和元年8月分〕

調査日：令和元年8月7日

調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
項目										
時刻		12:45	13:15	12:10	10:11	9:40	-			-
透明度	[m]	1.7	1.7	1.8	1.9	1.7	1.7	～	1.9	1.8
水温		29.2	29.2	31.0	29.0	29.0	29.0	～	31.0	29.5
	[°C]	25.4	25.2	25.4	24.6	25.2	24.6	～	25.4	25.2
塩分		25.0	25.0	23.8	24.9	25.2	23.8	～	25.2	24.8
	[－]	32.2	32.0	32.2	32.1	32.2	32.0	～	32.2	32.1
濁度		4	6	4	6	6	4	～	6	5
	[度(カリン)]	1	1	1	1	1	1	～	1	1
浮遊物質 (SS)		5	5	3	6	6	3	～	6	5
	[mg/L]	<1	1	1	1	<1	<1	～	1	1
水素イオン濃度 (pH)		8.6	8.5	8.7	8.6	8.6	8.5	～	8.7	-
	[－]	8.1	8.0	8.1	7.8	8.1	7.8	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)		6.2	4.8	4.8	5.1	4.0	4.0	～	6.2	5.0
	[mg/L]	3.0	3.0	2.8	1.2	1.0	1.0	～	3.0	2.2
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	12	12	11	11	11	11	～	12	11
	飽和度 [%]	6.4	4.0	5.4	3.2	6.3	3.2	～	6.4	5.1
全窒素 (T-N)		180	180	169	165	165	165	～	180	172
	[mg/L]	94	58	79	46	92	46	～	94	74
全窒素 (T-N)		0.62	0.55	0.38	0.36	0.46	0.36	～	0.62	0.47
	[mg/L]	0.16	0.23	0.19	0.33	0.18	0.16	～	0.33	0.22
全磷 (T-P)		0.096	0.086	0.058	0.061	0.063	0.058	～	0.096	0.073
	[mg/L]	0.026	0.063	0.034	0.10	0.034	0.026	～	0.10	0.051
クロロフィル a (chl. a)		36.0	34.3	14.4	18.9	30.4	14.4	～	36.0	26.8
	[μg/L]	2.0	1.6	2.6	2.6	0.2	0.2	～	2.6	1.8

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

【参考】（自主検査）

水質調査結果

調査日：令和元年8月7日

項目	調査点	1	2	3	4	5
ノニルフェノール	[mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
報告下限値 0.00006						
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS)	[mg/L]	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
報告下限値 0.0006						
亜鉛	[mg/L]	0.004	0.005	0.004	0.006	0.006
報告下限値 0.001						

項目	環境基準値
ノニルフェノール [mg/L]	0.001
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS) [mg/L]	0.01
亜鉛 [mg/L]	0.02